

▼あぶらな(ナノハナ)(あぶらな科)



花が終おわる頃ころから茎くきが長ながくのび、垣根かきねを通とりぬけるのでこの名ながつく。葉草やくそうとしても利用りようされる。葉の形かたとつき方かたよりレンセンソウともいう。

花 期 4~5月

草 丈 15~20cm

生 育 地 道ばた, 庭, 畑のすみ

▲あぶらな

中国ちゆうごくから渡来とらいし、栽培さいばいされている。春おうかつしよくに黄褐色かじつの花をつけ、果実かじつは細長ほそながく、熟じゆくすると黒褐色くろかつしよくの種子しゆしが飛び出とす。この種子とからなたね油あぶらをとり、燈火油とうかゆなどに使つかった。茎葉けいようは食用しよくとする。キャベツ、ハクサイ、ダイコン(白淡紫)などの花は皆よく似ている。

花 期 4~5月 草 丈 70~100cm 生 育 地 畑さいばいに栽培, 野性化やせい化もしている

かきどおし(しそ科) ▶

